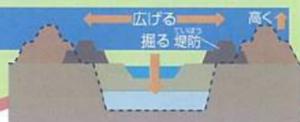




## 川の改修



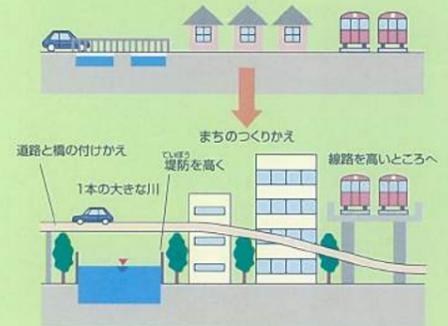
# 流れる水の量をふやす川を流れやすくする!

堤防の低いところや川が運んでくる土砂で底が浅くなっているところでは、堤防を高くしたり川底をほったりする改修工事を行うことで、流れる水の量をふやしています。また、曲がりくねった川をまっすぐにしたりする工事を行い、川の水を流れやすくしています。

### 住道駅前の改修工事の様子



大東市住道地区では、駅前のまちをつくりかえたり、線路を地上より高いところに付けかえる工事といっしょに、川の改修工事を行いました。



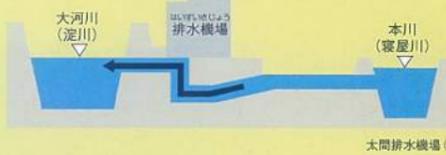
## 流すしせつ

### ■分水路

水路をつくって大きな川に流す

①分水路とは、川からあふれそうな水を別の川へ分けて流すためにつくられた新しい水路のことです。寝屋川には、寝屋川導水路と城北川の2本があります。

②寝屋川から分かれた水は寝屋川導水路からは「太間排水機場」、城北川からは「毛馬排水機場」とよばれる大きなポンプ場を通して、大きな川の「淀川」に流され、寝屋川からあふれ出るのをふせぎます。



太間排水機場(寝屋川市)

# 大きな川や地下の川へ水を流してしまおう!



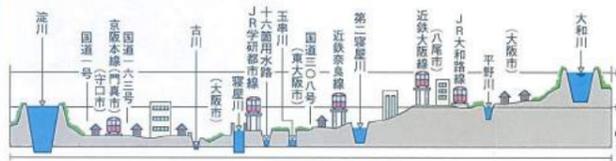
### ■地下河川

地下に川をつくって流す

道路などの地下に大きな川をつくって、そこにふった雨水や川の水を流し、川からあふれ出るのをふせぎます。寝屋川流域の北と南に2本の地下河川工事を進めています。この地下河川は、直径がいちばん大きいところで10mもあり、その長さはなんとそれぞれ10km以上もあります。



# わたしたちのまちはこんなに低いところにあります。



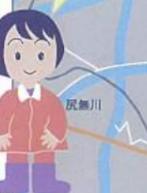
川の底がまちの地面よりも高い川を「天井川」といいます。この「天井川」から水があふれると、たくさんの水がまちに流れて大きな氾濫になります。寝屋川流域も、川の底より低いところがとても多いのです。

## 「たくさんのしせつを作って、洪水をふせぐんだ」

## 寝屋川流域図



この京橋口が、寝屋川流域のただひとつの水の出口なのね。

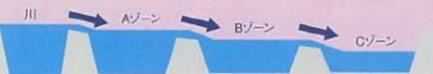


## ためるしせつ

### ■遊水地

川の水をいったん他の場所にためる

いつもは、川と親むことができる公園ですが、大雨がふり、川の水位が上がると、流れている水をこの公園の中に流しこんで、いったんためます。川の水位が下がれば、もう一度川に水をもどすようにしています。



### 遊水地(治水緑地)のしくみ

寝屋川治水緑地の場合、まず「Aゾーン」にため、もっと必要な場合は「Bゾーン」「Cゾーン」にためます。3つのゾーンの広さは約50haで、合計146万m<sup>3</sup>の水をためることができます。これは甲子園球場の約13倍の広さで、大阪マルビルの約15は1分の量になります。



## ためるしせつ

### ■流域調節池

地下に池をつくっていったんためる

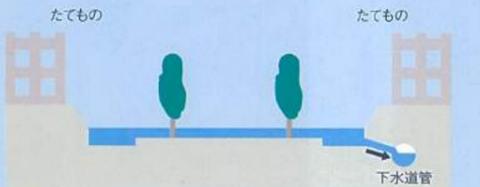
まちの中によく見ることが出来る公園や広場、駐車場の地下に、雨水をためることができる大きな池をつくっています。大雨がふったとき、雨水が川に流れこむ前に、ここにいったんためて、まちを洪水から守ります。



# 公園や学校の校庭にも水をためる!

## 流域対策

流域対策とは、「水をためるしせつ」を大阪府や市がつくるだけでなく、学校のグラウンドやたてもものたてもの間にいったん水をためたり、道路を雨水がしみこむアスファルトにかえたりすることです。また、森や田畑を守ることや、洪水が起こったときにひがいを小さくするための訓練や、みんながにげる場所を決めたりしています。



# まちの中に、水をためるところをつくる!

